

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 5 年 10 月 日 (: ~)
-----	-----------------------

1.初期支援(はじめのかかわり)

メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野 高田、河野、浅田、宮本
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	9 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画

- ・カンファレンスノートの活用を継続する。
- ・ミーティングは必要毎に行う。
- ・各自の気づきなど、朝礼時や終礼時に発表する。

前回の改善計画に対する取組み結果

カンファレンスノートを有効に活用した。
朝礼、終礼に気づき等の話し合いをし、情報を共有した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	10	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、必要としている支援ができていますか？	3	10	0	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	8	5	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	9	0	0	13

できている点

利用開始時には情報提供書などで情報の共有を行っている
信頼関係を築くために、なるべく関わりを持って、ご本人のことをできる限り理解するようにした
ご家族、介護者の不安はいつでも聞き、困りごとに対してできる限りの支援をしている

できていない点

情報の共有が職員全員に周知できていないことが時々あった

次回までの具体的な改善計画

前回の改善計画を継続し、ミーティングの回数を増やしていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和 5 年 10 月 日 (: ~)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野
高田、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	9 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画

・目標の見直しを期日を守り実行する。
 ・評価を確実にする。
 ・ご本人様、ご家族様との関りを深め気持ちを理解するよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

変化があれば情報を共有し、目標の見直しに努めた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	1	10	2	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	9	1	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	4	8	1	0	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	9	2	0	13

できている点

ケアプランのカンファレンス等で情報を共有し支援を行った

できていない点

ご本人の思いとご家族の要望にズレがあり対応が難しい
 ケアプランを職員全員が把握しきれていない

次回までの具体的な改善計画

カンファレンスで知り得たご本人、ご家族の新しい情報はカンファレンスノートで共有する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和 5 年 10 月 日 (: ~)

3.日常生活の支援

メンバー

青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野
高田、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	8 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画

・ご本人様のできる事、できない事を理解し、統一した援助をする。
 ・ご利用者様の「以前の暮らし方」の10項目を、担当者が情報収集し発信し共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

情報を共有し統一した援助ができている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	6	6	0	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	10	3	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	10	2	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8	5	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	8	5	0	0	13

できている点

本人様の不安や体調の変化等に応じて、すぐに利用や泊まりの提供を行っている。
 訪問の回数や内容も、その都度検討しながら対応している。

できていない点

ご本人の思いを言語化しても、現実的に不可能なこともあり難しい。

次回までの具体的な改善計画

前回の目標を継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和 5 年 10 月 日 (: ~)

4.地域での暮らしの支援

メンバー

青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野
高田、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	11 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画

・入浴時等ゆっくりお話しできる時間を利用し、ご本人様より情報を聞き出す。
 ・ご家族様から情報を聞き、暮らし方や行動を理解する。

前回の改善計画に対する取組み結果

入浴時1対1でお話をし、生活の様子や昔話を聞くことができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	12	1	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	9	2	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのようにすごしているか把握していますか？	0	10	2	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	9	1	2	13

できている点

ご利用者様のことをいつも気にかけてくださっている民生委員さんには、ご利用者様に何か変化のあった時にはご家族に了承を得て連絡するようにしている

できていない点

自宅で一人で過ごされて居るときに何をされているか把握することは難しいこともある
 ご家族にお会いする機会の少ない利用者様には聞き取りがあまりできていない

次回までの具体的な改善計画

訪問や送迎時ご家族や近所の方とのコミュニケーションを大切にし情報収集に努める

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10 月 日 (: ~)
5.多機能性ある柔軟な支援	メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野 高田、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	6 人	7 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画

小規模の仕組み(皆でサービスを分け合う)を、利用前にご家族に説明し、ご理解頂けていると思うが、今後も継続してお伝えし、必要な時に必要な方に支援をしていけるように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

必要な支援をしていけるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	4	8	1	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	12	1	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	7	6	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	10	3	0	0	13

できている点

地域の散髪屋、お弁当屋、生協、スーパー等利用し支援している。
必要な方には、はつかいち見守り安心ネットワークの登録や、ふれあい収集の利用も進めている
ご本人、ご家族の状態に合わせて支援できている

できていない点

コロナ禍で、地域のボランティアさん等に来所してもらい支援してもらうことはできなかった

次回までの具体的な改善計画

小規模の仕組み(皆でサービスを分け合う)を、利用前にご家族に説明し、ご理解頂けていると思うが、今後も継続してお伝えし、必要な時に必要な方に支援をしていけるように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 日 (: ~)

6.連携・協働

メンバー 青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野
高田、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	8 人	5 人	0 人	13 人

前回の改善計画

・感染対策をしっかり行っただけで活動を行っていく。
・コロナウイルスの感染が落ち着けば、地域の方にホームに来て頂けるようなイベントの企画や、地域のイベントにも出向いて行きたい。

前回の改善計画に対する取組み結果

コロナ禍でできることは限られたが、n-Cafeには参加する事ができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス期間(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行なっていますか？	5	4	3	1	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	4	6	2	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	3	8	2	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	1	3	9	13

できている点

コロナが5類になってから、n-caféに毎月参加している。
運営推進会議に民生委員さんや市役所の方にも参加して頂き、ご意見を頂く事ができた。

できていない点

コロナの感染対策もあり、ホームに地域の方に来ていただくことはできなかった。

次回までの具体的な改善計画

コロナの感染状況を見ながら地域との関わりを考えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 日 (: ~)

7.運営

メンバー 青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野
高田、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	8 人	5 人	0 人	13 人

前回の改善計画

・地域に必要とされるための拠点であるための取り組みをどのようにすればできるかを話し合っていく

前回の改善計画に対する取り組み結果

具体的な話し合いは、あまりできていないが、地域の方からの利用の問い合わせも増えており、施設の存在が認知されていると思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	4	7	0	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5	8	0	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	9	0	0	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行なっていますか？	0	7	6	0	13

できている点

苦情はなかった
意見は報告し対応できている
看護実習生の受け入れを年に4回行っている

できていない点

運営や地域との話し合いについては、管理者・リーダー任せになっている
(会議録は読んでいる)

次回までの具体的な改善計画

前回の目標を継続
地域に必要とされるための拠点であるための取り組みをどのようにすればできるのかを話し合っていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 日 (: ~)

8.質を向上するための取組み

メンバー 青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野
高田、河野、浅田、宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	8 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画

- ・引き続きヒヤリハットの対策に取り組む。
- ・声を掛け合い、ヒヤリハットの防止に努める。
- ・研修の成果を発表する時間を作り全員で取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

ヒヤリハットの再発防止の対策をし、大きな事故は防ぐことはできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内、職場外)を実施・参加していますか	9	4	0	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	7	0	1	13
③	地域連絡会に参加していますか	2	3	5	3	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	7	1	0	13

できている点

月に1回 e-ランニングにて全員が研修を受講することができている。
ヒヤリハット発生時の対策の検討をし皆で共有している
研修に行った時には報告会をしている

できていない点

院外の研修はコロナ以前ほどの参加はできていない

次回までの具体的な改善計画

院外研修も積極的に参加し情報、学びを共有していく

事業所自己評価・ミーティング様式	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">実施日</td> <td style="padding: 5px;">令和 5 年 10 月 日 (: ~)</td> </tr> </table>	実施日	令和 5 年 10 月 日 (: ~)
実施日	令和 5 年 10 月 日 (: ~)		
9.人権・プライバシー	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">メンバー</td> <td style="padding: 5px;">青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野 高田、河野、浅田、宮本</td> </tr> </table>	メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野 高田、河野、浅田、宮本
メンバー	青木、梶岡、岡本、松田、宮崎、岡田、山田、弘谷、増野 高田、河野、浅田、宮本		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	10 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・狭い空間なので声の大きさ伝達方法など工夫しプライバシー保護に努める。 ・排泄の声掛け、誘導の仕方について検討し統一した援助をする。 ・スタッフ専用の部屋があると話し合いがしやすいため、設置してもらえるように意見を出していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	狭い空間のため、職員の会話内容を利用者様が聞かれることがあった。 職員同士の個人情報等も注意すべきであった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	1	0	0	13
②	虐待は行なわれていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	2	11	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	3	0	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	7	0	0	13

できている点	身体拘束・虐待は行われていない 虐待防止のための研修を行っている。 後見人の方とも連携をしながら支援するよう努めている
--------	--

できていない点	スタッフ専用の部屋がなく個人情報が漏れやすい 少し大きな声で個人情報を話している時がある
---------	---

次回までの具体的な改善計画	プライバシー保護を心掛ける スタッフ専用の部屋があると話し合いがしやすいため、設置してもらえるように意見を出していきたい
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表(2023年度)

法人名	医療法人みやうち	代表者	野村陽平	法人・事業所の特徴	併設の病院を中心とした、近隣事業所との交流を行い、ご利用者様が閉じこまることのない環境を提供している。また、個々の健康に配慮し、体調の変化に注意しながら、病院スタッフとも連携をとり、異常の早期発見に努め、ご本人はもちろんご家族にも安心して生活していただけるようにしている。
事業所名	小規模多機能ホーム 宮内温泉湯治の館ひまわり	管理者	青木照美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	人	1 人	3 人	1 人	3 人	2 人	人	11 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続き、ご利用者様の心身の状態や生活を理解するようにしていく。 外部での研修にも参加し、個人の介護レベルを上げていくようにしていく。	ご利用者様の心身の状態や生活の状況を 朝・夕の会やカンファレンス等で情報共有している。 職員全員毎月eランニング研修を受講		引き続き、ご利用者様の心身の状態や生活を理解するようにしていく。 外部での研修にも参加し、個人の介護レベルを上げていくようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナが落ち着き皆さんに来ていただけるようになったら、地域の方や、ご家族様に催しの案内を行い、参加してもらい施設を多くの人に見てもらえるよう努力する。	地域の方に参加してもらえるような催しはまだできていない。 泊まりのご家族の方の面会はできるようになった	面会時いつもあたたかく迎えてくれるホーム内に不快な匂いはありません 季節ごとに利用者様の作品が貼ってある。皆様に見ていただけるよう写真をもっと撮ってはどうか	年に1回広報誌を発行していたが、来年度は年に2回は発行し、皆様の作品やホームの様子を知ってもらうよう努める 状況をみながら、地域の方に来ていただけるような機会を作っていきたい
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方に会った時には、こちらから積極的に挨拶し、気軽に声をかけ相談してもらえる関係を築いていけるように努める	利用者様のご近所の方にも積極的に挨拶をし心配事がある時には相談・連絡してもらえるよう関係づくりを心掛けた。ご近所の方からホームに連絡を下さることもあった	いつも笑顔で挨拶してくれる 地域に根差した施設になれるように活動を続けてもらいたい	廿日市市内の小規模多機能や看護多機能事業所と連携し小規模のことを知ってもらい相談してもらえるように地域のサロン等に参加していく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	コロナが落ち着いてきたら、地域の行事やイベント等へ参加していく。	n-caféには毎回参加できたが、地域のイベントにはまだ参加できていない	地域の行事への参加をもっと具体的な目標にして欲しい	n-caféへ参加し地域の方と交流する 宮内市民センターの行事(利用者様の興味のある)に、年に1回は参加するよう努める
E. 運営推進会議を活かした取り組み	利用者様、ご家族、民生委員の方や地域の方に、ご意見をお聞きし、運営推進会議で検討して、より良い施設を目指していく	今年度は書面ではなく参加人数の制限はありましたが、対面で会議を行うことができ、ご意見を伺うことができた	活動状況を具体的に知ることができた 会議へは1回しか参加していないので、過去に事例検討をされているかはわからない	利用者様、ご家族、民生委員の方や地域の方に、ご意見をお聞きし、運営推進会議で検討して、より良い施設を目指していく
F. 事業所の防災・災害対策	毎月の防災訓練の様子を引き続き運営推進会議で報告していくと共に、消防署の方にも声をかけて、防災訓練を行い指導を仰いでいく。 また、火災予防にも努める。	火災だけではなく地震や台風、水害も想定して毎月1回訓練を行い報告することができた 消防署の方に参加してもらっての訓練はできなかった	災害時、家族としてどのように行動すればよいか助言いただきたい	毎月の防災訓練の様子を運営推進会議で報告する 災害時の安否確認やご家族への連絡等、災害が起きた時にすぐに対応できるように個別の一覧表を作成する